

◎安田地区公民館平成30年度運営の状況と評価

(1) 運営の状況

項目	状況
年間総利用者数	403 団体 のべ 3350 人（公民館使用簿より）
開催事業・講座	計 30 回 のべ 2,821 人参加 (詳細は別紙「平成 30 年度事業実績」のとおり。)

(2) 評価

○評価項目及び評価

項目	評価の観点 (下記が適正にできているか)	特徴的取り組み・反省点など	評価
公民館の目的・目標	・関係者（職員・役員）の目的・目標理解と意欲的取組み	館長・主事の連絡確認を密にし、地域活性化の課題について年間を通じて活動した。	B
地域全体で行う、まなびテーマの把握・反映・実践	・住民学習ニーズの把握及び事業への反映 ・地域課題、生活課題、現代的課題の事業への反映（講座リスト活用） ・発達課題、家庭教育、奉仕・体験活動に関する学習機会設定 ・事業への住民参画推進	運営協議会・安田地区振興協議会・地域住民から意見を聞くことでニーズを把握し、反映に努めた。女性視察研修やシニア視察研修を開催し学びを提供。また、公民館のつどいでは、地域住民一体となって運営し実施できた。船上キッズの開催、異文化理解行事ハロウィンパーティ、物づくりなどを開催。安田地区振興協議会と共に、防災ワークショップを行い、住民の防災に対する意識と学びの場を設けた。 来年度もニーズを探り、住民参画を促す事業を展開したい。	B
より自主的なまなびのススメと広がり	・自主運営学習グループづくり推進 ・住民の自主学習支援 ・学習リーダー、講師育成 ・学習成果発表機会設定 ・関係団体と連携しての事業実施	子育てサポート活動 Step-by-Step を継続し、家庭教育の推進と食育への関心、保護者と地域住民の交流に努めた。また、公民館のつどいにおいて住民の展示・発表の機会を展開。学習成果発表と新たな学習者確保を進めた。また、船上キッズ、ふなのえこども園交流会などを各種機関、成美・以西地区公民館と連携して行った。	B
まなび情報提供と職員研修	・講座開催、学習グループの情報提供 ・職員研修（町教委主催など）への参加と自己研鑽	公民館だより発行（3回）、ホームページ掲載、音声告知放送など情報提供に努めた。 町・郡公連主催の研修などに参加し、研鑽を続けた。	A
利用者目線のまなびの館づくり	・館管理、貸館、不在表示の適宜実施 ・利用者への挨拶励行など、接遇改善	不在表示を行い、利用者への配慮に心がけた。清掃に努め、いつも花を飾り「来たときよりも美しく」を合言葉に住民啓発を実施。明るい挨拶と笑顔で優しく柔軟な対応に心がけた。	A
総括	・地域学習拠点として全体総括 ・次年度に向けての改善点	自主運営学習グループづくりを推進し、多様な種類の活動作りが出来るように広く学習人材情報収集に努めたい。	合計 17 点 (20 点中)

※評価 A：適切・十分（4点） B：概ね適切・概ね十分（3点） C：やや不適切・やや不十分（2点） D：不適切・不十分（1点）

○平成30年度事業実績

安田地区公民館

事 業 名		内 容	ね ら い	実績(開催日・回数・参加人数等)
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進	年14回開催・のべ180名出席
	厚生部長会	厚生部長8名で組織。公民館の事業の具体的な取組について協議し、実践していく	事業実施を通じた地域リーダーの育成	年2回開催 のべ16名出席
	社会部長会	公民館祭の公民館事業の具体的な取組について内容等を検討し、実践する	事業実施を通じた地域リーダーの育成	年2回開催・のべ16名出席
	学校地域戦略会議	船上小学校・PTA・3地区公民館(安田・成美・以西)・地域コーディネーターが集まり、各地区について情報交換や事業の協力など話し合う	小学校統合を機に、各地域の力を合わせよりよい学校環境を作る	年8回開催・のべ80名
女性教室	視察研修	山田養蜂場みつばち農園 モンレーヴ館内見学 城東町並み保存地区	みつばちの自然界での役割や生態を見学 歴史建造物に触れる	7/6・12名
	ステンシル教室	issing丸山ゆきさん講師 型の上から色を塗りオリジナルのTシャツとバッグ作り	手作りへの関心と生活向上	12/2 16名
	モツツアレラチーズ作り教室	徳丸久美子さん講師 米酢とパスチャライズ牛乳で自宅でもコツをつかめば簡単に出来る	生活向上	3/12 12名
成人教室	チャレンジ登山 (春・秋)	地元の山楽会の案内で各地の山に登る	自然に触れる機会を作り体力維持を目的に登山する	春4/30 39名 秋11/5 29名
	ミニ門松作り教室	正月飾りのミニ門松を作り、門松に使われている材料について学ぶ	伝統文化の継承と自然のもので物作り体験をし学ぶ	12/16・15名
	防災ワークショップ	クロスロード形式で災害時に起こりうる問題について話しあう	地域のあり方について住民が話しあい実行できる機会を作る	3/6・20名
	てくてくやすだ会	安田地区内の歴史スポットを歩く	地域内の歴史や文化に触れ、住民同士の交流を持つ	3/24 雨天のためペタンク交流会 27名
シニア教室	視察研修	滝山公園 金持神社 日南町美術館	県内の歴史や芸術に触れる	4/21 19名
	グラウンドゴルフ交流会	グラウンドゴルフを日頃からされている高齢者同士の交流試合を行う	高齢者の健康維持促進と交流	6/25・40名
	高齢者栄養教室	食生活改善推進員を招き、調理実習を行う	高齢者が栄養の取り方にについて学ぶ	12/18 24名
	ロコモ予防体操教室	アスレティックトレーナーの谷川さんに指導を受け毎日続けられるロコモ予防の体操を学ぶ	介護されない体作り	12/18 24名

子育て世代活動	和紙で魚釣りおもちゃ作り (船上キッズ)	わらべ館 出張おもちゃ教室 講師 山本千恵子さん 他スタッフ2名	工作を通して手作りの良さを実感し、繊細な作業で集中力を養う	7/8 16名
	赤磯の海をたのしもう 磯あそび (船上キッズ)	岩田弘さんに海の生き物について教えてもらい触れ地元を愛する心を育てる	観察用の道具を使い積極的に自然と触れ合う	7/16 17人
	夏休み見学ツアー (船上キッズ)	鳥取砂丘こどもの国 かにっこ館 鳥取県立博物館	子どもたちの自立と物事への興味を促し体験することの大切さを学ぶ	8/6 27名
	ハロ윈インパーティ @おばけの館	異文化体験や交流をし国際理解を深める。マイラーブル、ALTによる絵本の読み聞かせ、ハロ윈クイズラリー	文化の違いを受け入れ楽しみ国際的視野を広げる	10/26 49名
	米粉スポンジケーキ作り	親子で手作りおやつを通して食への関心を高める	地域で食育促進	12/22 18名
	ふなのえこども園との交流	お茶会 稲荷神社参拝	地域の方と交流	1/11 30名
社会体育事業	グラウンドゴルフ大会	2部落1組でホールを回り交流を深める	誰でもできるスポーツを通して地域内交流を図る	5/13 雨天のため中止
	ソフトボール大会	トーナメント戦でソフトボールを行う	異世代交流と各部落交流を図る	8/19 80名
	町民運動会	安田地区の一大イベント 各種目において老若男女が競う	様々な競技に参加することで部落の団結を強め、異世代交流を図る	9/23・競技参加者約1100名
	バレーボール大会	トーナメント戦でバレーボールを行う	部落の団結、地域の交流を深める	11/18・120名
	安田ゴルフ会	春秋2回開催	地域交流を深める	4/14 17名 10/2 16名
	やすだピンポン大会	誰もが参加できる部落総当たりのリーグ戦	部落の団結、地域の交流を深める	2/24・90名
乳幼児教室	子育てサポート活動 Step-by-Step	毎月第4水に子育てをしている家庭を対象にいろいろな企画を行い、お母さん同士、地域、子どもたちの交流を推進する	子育て中のお母さんや子どもたちと地域の交流の場	毎月第4水 ボランティア7名 年間参加数 40組
公民館祭	安田地区公民館のつどい	地域住民作品 船上小児童・ふなのえこども園児作品の展示 かくし芸大会や地域サークルの活動発表	旧安田小学校を使用し、地域活性化の場となり交流や発表する場を提供する	2/24・200名